

～人を豊かに、地球を美しく～

貴金属・環境・食品分野のソリューション提供企業

第74期 2023年3月期 第2四半期（上期）

決算説明



2022年11月25日

— お問合せ先 —

執行役員CSR・IR部長 田中善則

<https://www.matsuda-sangyo.co.jp/>



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

決算の概要

2023年3月期（上期）



○ 連結業績（2023年3月期/上期）

単位：億円

	22/3期上期 (前期)	23/3期上期 (当期)	前年同期比 増減(率)		22/3期通期 (前期)	23/3期通期 (当期予想)	前期比 増減予想(率)	
売上高	1,360	1,760	+399	+29.4%	2,722	3,300	+577	+21.2%
営業利益	72	79	+6	+9.4%	126	128	+1	+0.9%
営業利益率	5.3%	4.5%	-0.8%pt	—	4.7%	3.9%	-0.8%pt	—
経常利益	78	81	+2	+3.7%	137	133	-4	-3.2%
四半期純利益	54	56	+1	+3.0%	95	93	-2	-2.7%

- 2023年3月期上期では、売上高は前年同期比29.4%の増収、営業利益は9.4%の増益。
- 貴金属関連事業、食品関連事業共に販売数量の好調と販売単価の上昇などを要因に、2022年8月公表の業績予想（上期）を上回る結果。

セグメント別の業績（2023年3月期/上期）

貴金属関連事業

単位：億円

	22/3期上期 (前期)			23/3期上期 (当期)			前年同期比増減	
	1 Q	2 Q	累計	1 Q	2 Q	累計		
売上高	497	469	967	639	630	1,269	+302	+31.3%
営業利益	34	24	59	34	31	66	+7	+12.0%
営業利益率	6.9%	5.3%	6.1%	5.5%	4.9%	5.2%	-0.9%pt	—

- ・売上高は前年同期比31.3%増収。営業利益は前年同期比12.0%増益。
- ・半導体・電子デバイス分野の堅調な生産活動。
- ・貴金属リサイクルの取扱量の増加に伴う、金/銀/白金族製品等の販売量の増加。
- ・金などの貴金属相場の上昇に伴う、販売単価の上昇。
- ・産業廃棄物の処理受託の増加。

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております。

セグメント別の業績（2023年3月期/上期）

食品関連事業

単位：億円

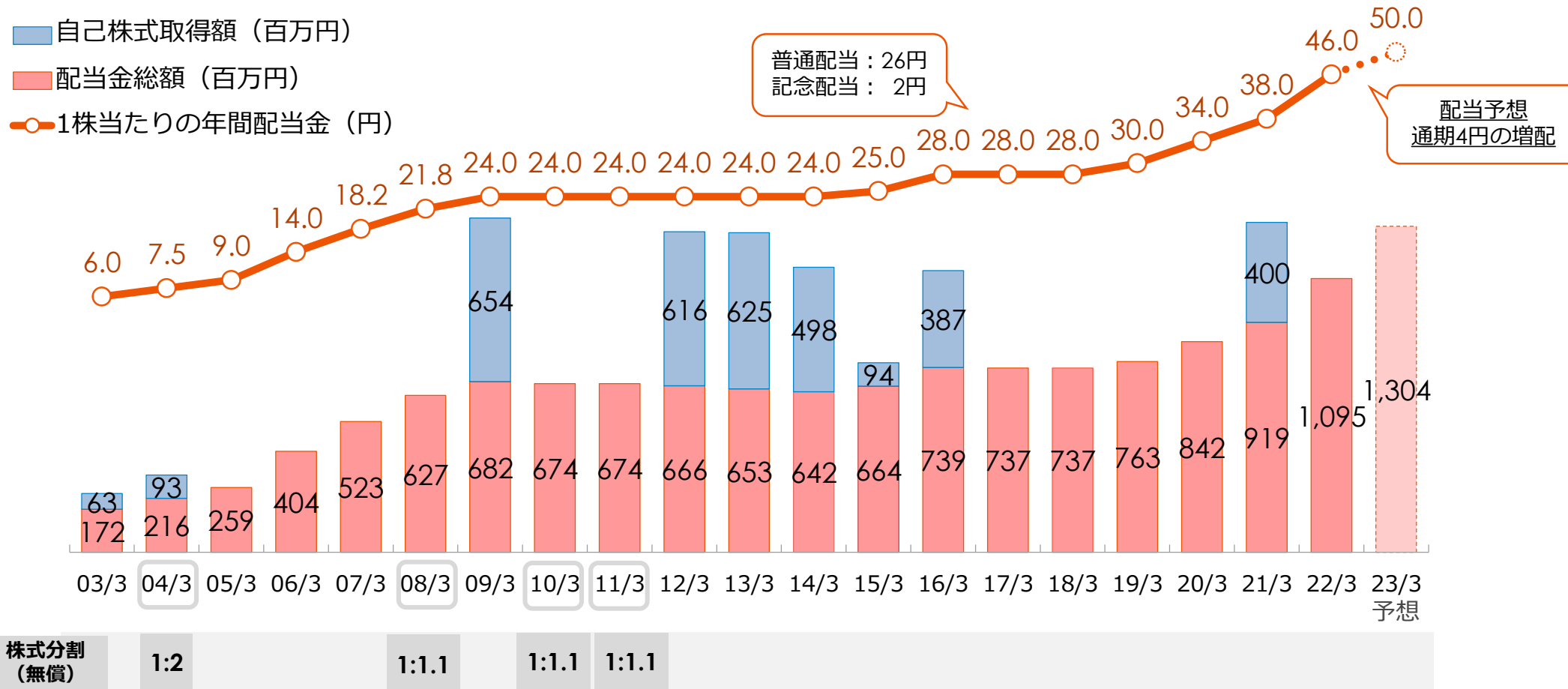
	22/3期上期 (前期)			23/3期上期 (当期)			前年同期比増減	
	1 Q	2 Q	累計	1 Q	2 Q	累計		
売上高	203	189	393	242	247	490	+96	+24.6%
営業利益	7	5	13	7	5	13	-0	-1.8%
営業利益率	3.8%	3.1%	3.5%	3.2%	2.3%	2.7%	-0.7%pt	—

- ・売上高は前年同期比24.6%増収。営業利益は前年同期比1.8%減益。
- ・食品製造業界は、外食産業向け業務用商品をはじめ持ち直しの傾向がある一方、原材料価格の上昇や、円安に伴う値上げ発表による節約志向の高まりにより、厳しい状況。
- ・水産品、農産品の販売量は増加、全体的に販売単価は上昇。

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております。

株主還元

成長投資のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、株主様への安定かつ持続的な配当を実施する事により、株主様の期待に応えてまいります。
 なお、配当については、通期で4円増配の50円を予想しており、5期連続の増配となります。



(注) 1株当たりの年間配当金は、株式分割の影響を補正しています。

・ 脱炭素への取り組み



WORLD
RESOURCES
INSTITUTE



- ・ 温室効果ガスの削減目標設定 (Scope 1 + 2、Scope 3)
- ・ SBTコミットメントの実施 (削減目標の認定取得へ)



- ・ TCFDへの賛同表明
- ・ TCFD提言に基づく開示実施へ

～環境負荷低減型・めっき用化成品(ECO PGC 683)の販売・提供を拡大～



ECO PGC 683

当社は、歴史ある金属回収・精製企業としての使命から、リサイクル金(Au)を100%原料に使用した、めっき用化成品(ECO PGC 683)を、工程認証を受け製造しています。

今後もECOシリーズの製造を拡大し、事業を通じて社会からの要求に応じてまいります。

- 連結貸借対照表
- キャッシュ・フロー計算書
- セグメント別の売上高、営業利益
- 通期の業績予想
- 設備投資の状況



○ 連結貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

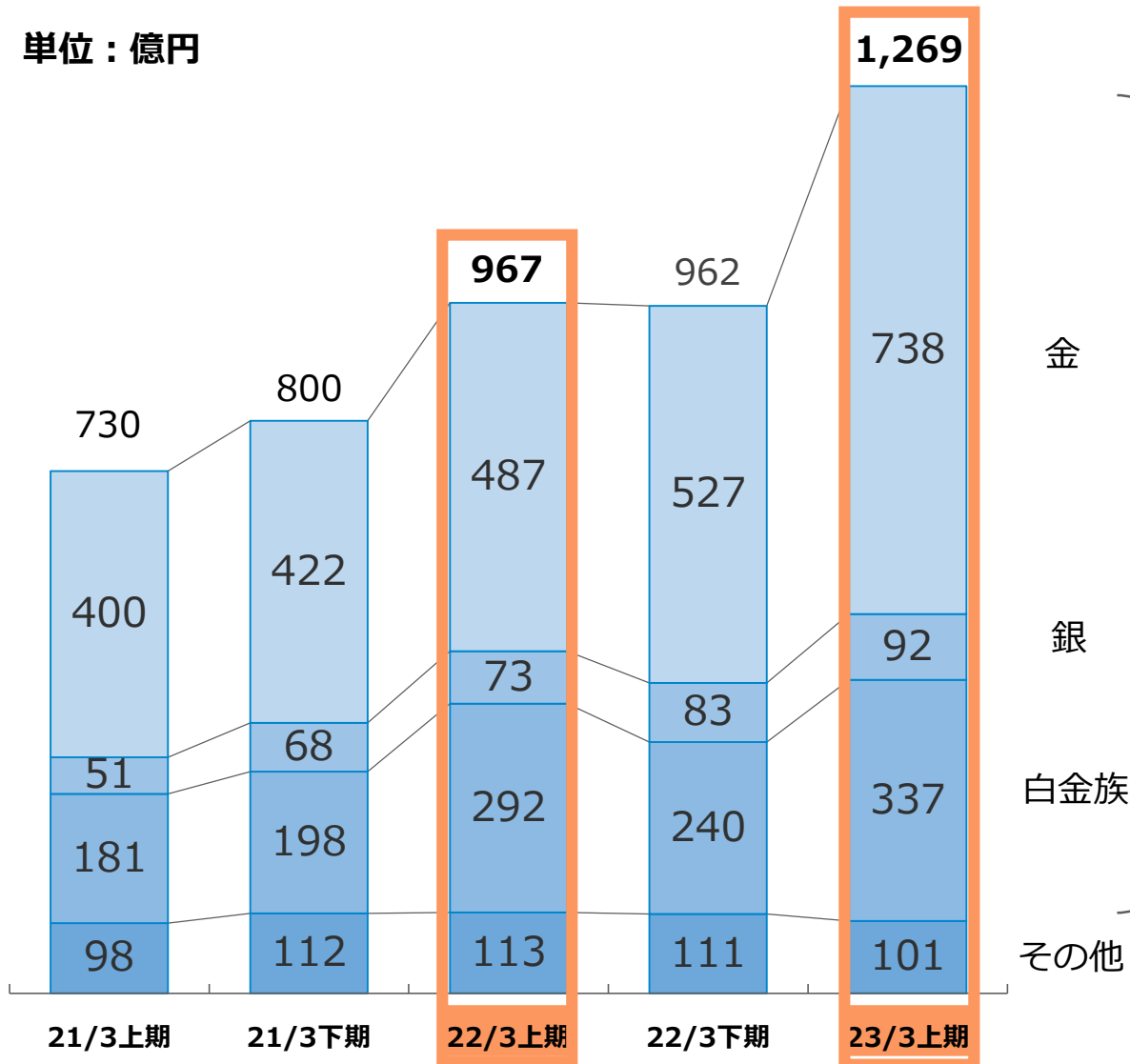
単位：億円

(連結)	22.3末	22.9末	増減	主な増減要因
流動資産	860	972	+111	棚卸資産+67、売上債権+39
固定資産	297	384	+87	土地・建物等
資産合計	1,157	1,357	+199	
流動負債	335	362	+26	長短借入金+132、買掛金+17
固定負債	77	179	+101	
うち有利子負債	163	295	+131	
負債合計	413	541	+128	
純資産合計	744	815	+71	
負債純資産合計	1,157	1,357	+199	
自己資本比率	64.2%	60.0%	-	

	21.4-9	22.4-9	増減
営業キャッシュ・フロー	84	▲ 37	▲ 122
投資キャッシュ・フロー	▲ 11	▲ 94	▲ 83
フリーキャッシュ・フロー	72	▲ 132	▲ 205
財務キャッシュ・フロー	▲ 51	123	+174

品目別売上高の推移 <貴金属関連事業>

単位：億円



製品
 ・貴金属地金
 ・めっき用化成品
 ・工業用電子材料

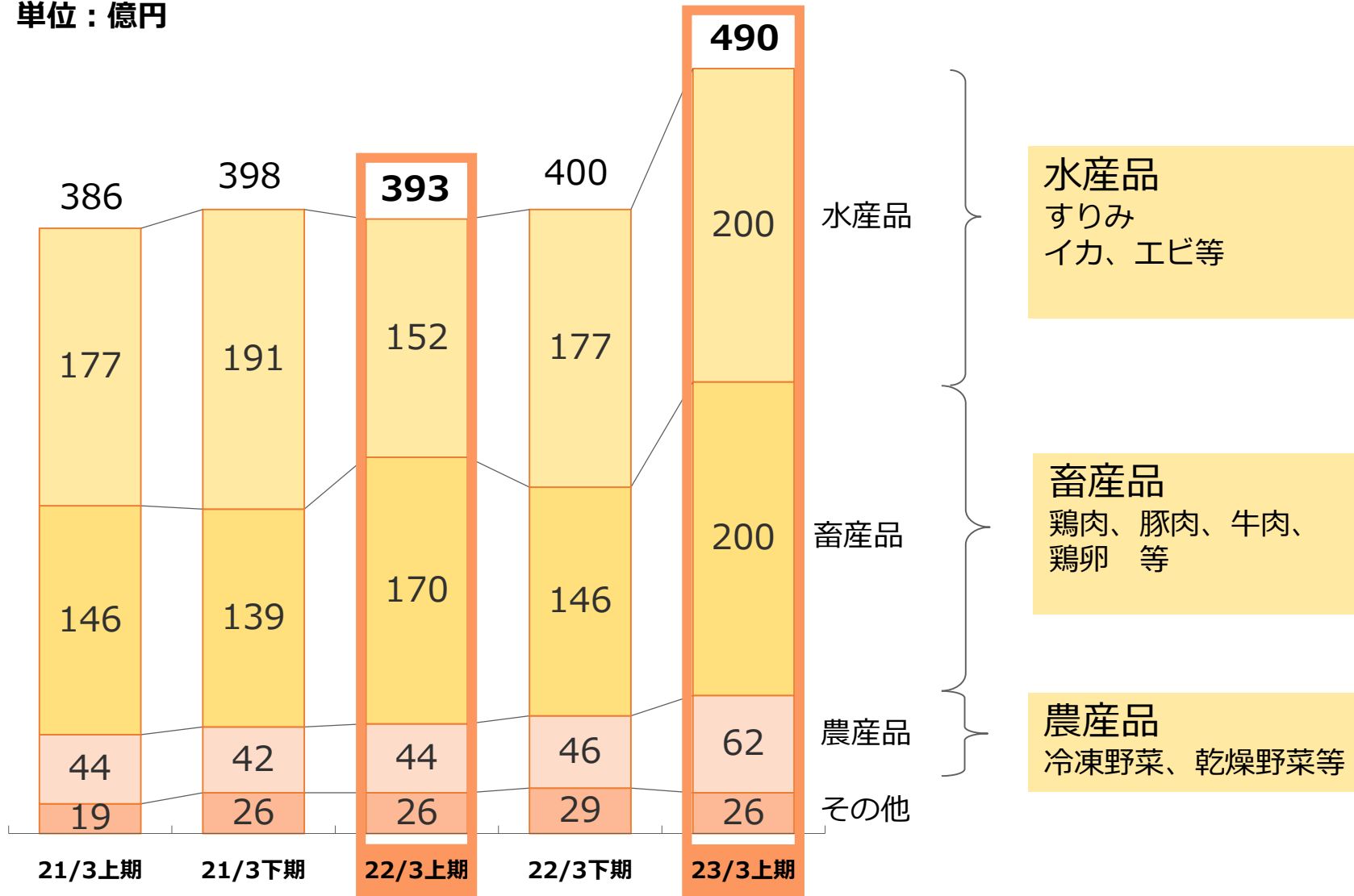
売上高： 302億円 増加

前年同期比増減要因

- 金製品は52%増加
数量増加、単価上昇
- 銀製品は25%増加
数量増加、単価上昇
- 白金族製品は15%増加
数量増加
- その他は僅かに減少も、
産業廃棄物処理は増加

品目別売上高の推移 <食品関連事業>

単位：億円



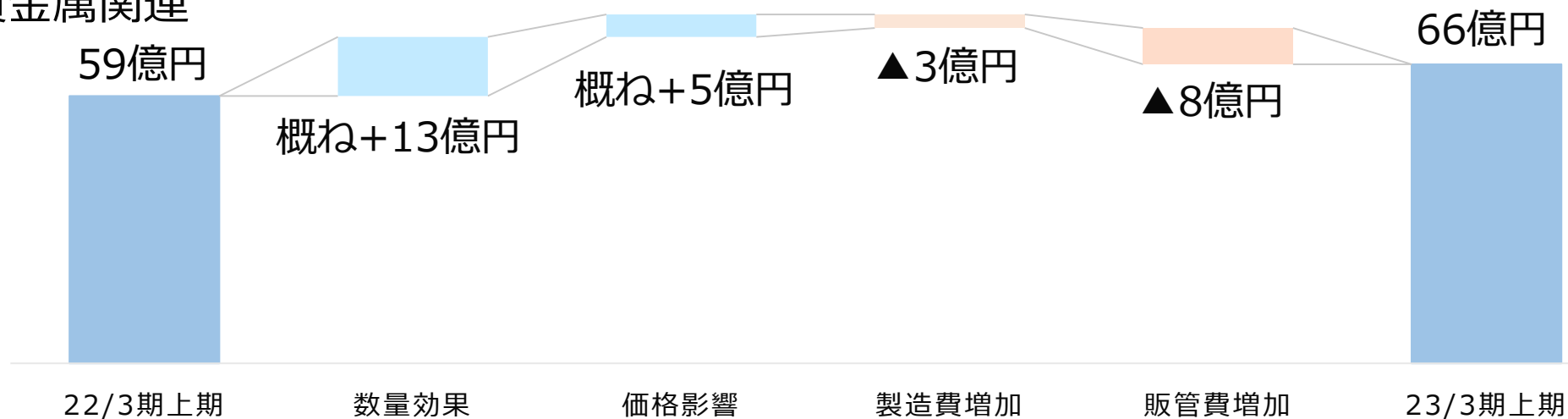
売上高：96億円 増加

前年同期比増減要因

- 水産品は32%増加
数量増加、単価上昇
- 畜産品は17%増加
鶏卵の数量増加
畜肉は数量減少
単価上昇
- 農産品は40%増加
数量増加、単価上昇

営業利益の概要

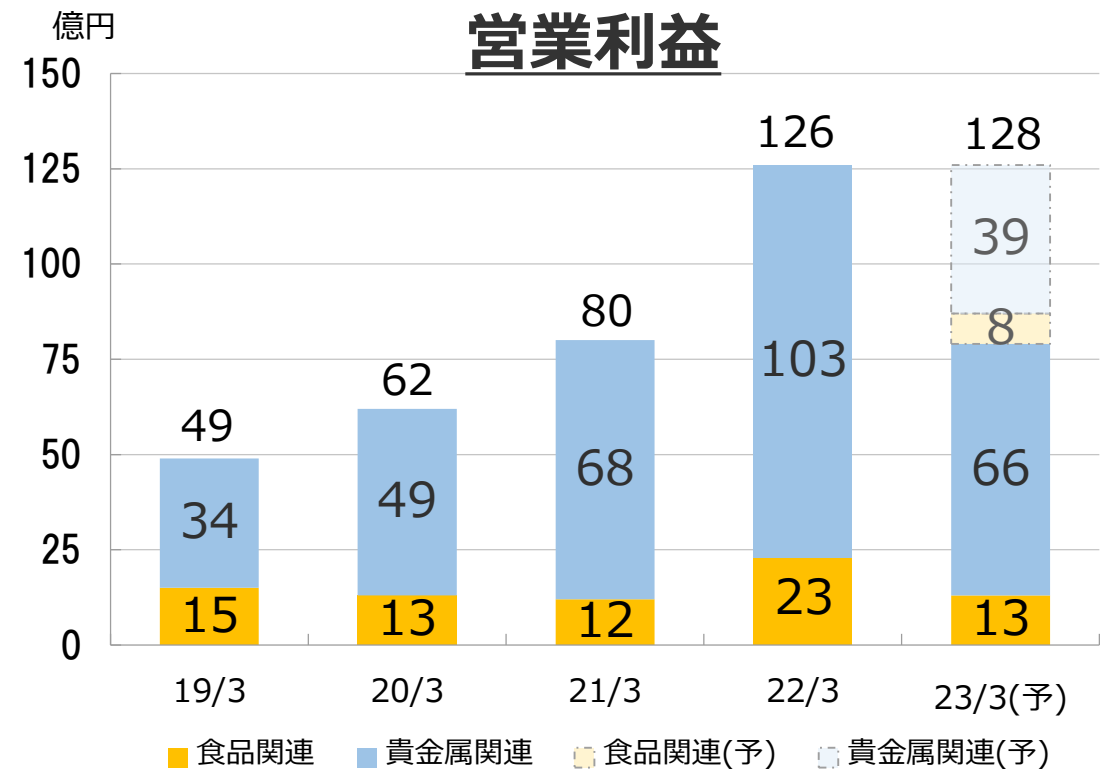
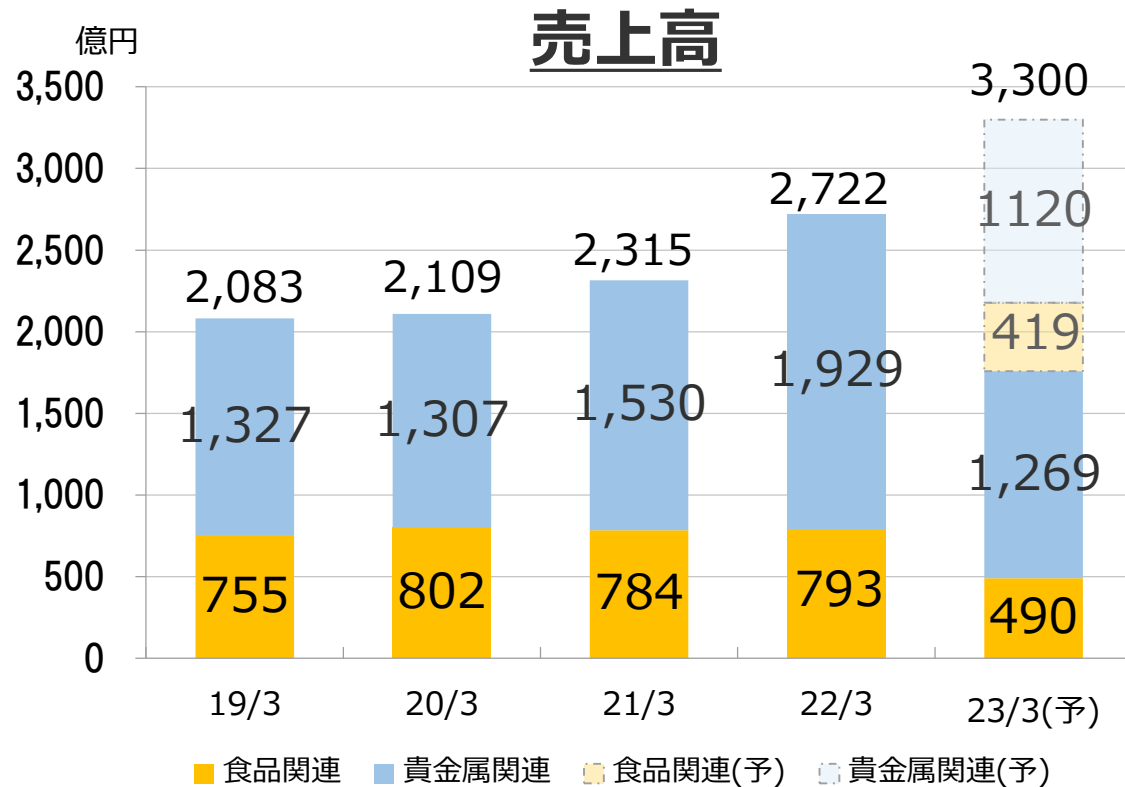
■ 貴金属関連



■ 食品関連



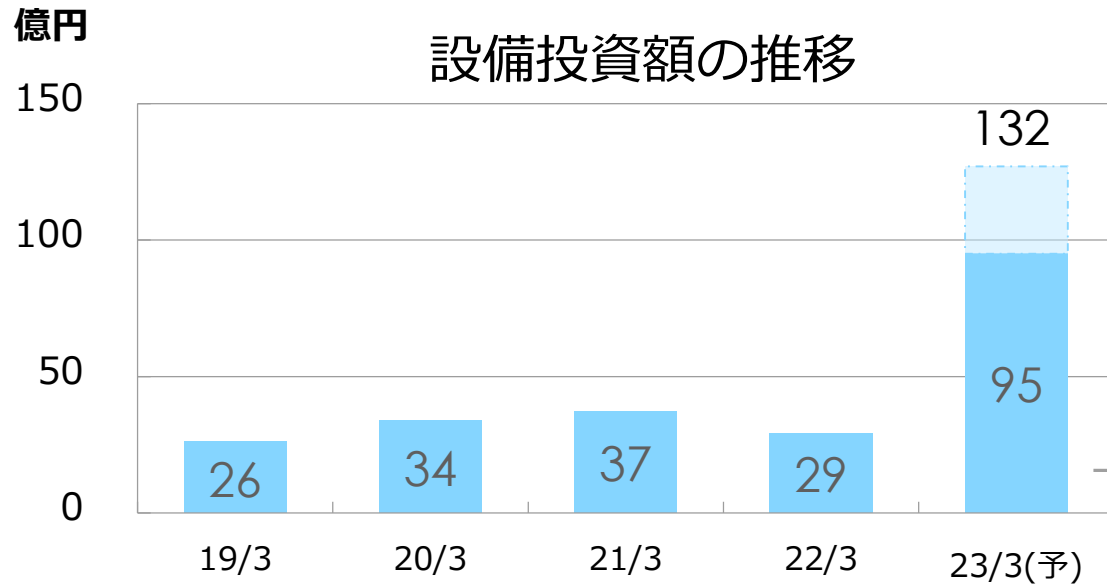
連結決算の業績推移と2023年3月期通期予想



2023年3月期通期見通し

2023年3月期上期においては、貴金属関連事業・食品関連事業ともに売上高と営業利益は予想を上回る結果。一方、通期においては、顧客の生産活動の低下・円安・物価上昇などのリスクを考慮し、売上高を除いて、利益面は前回予想を据え置き。

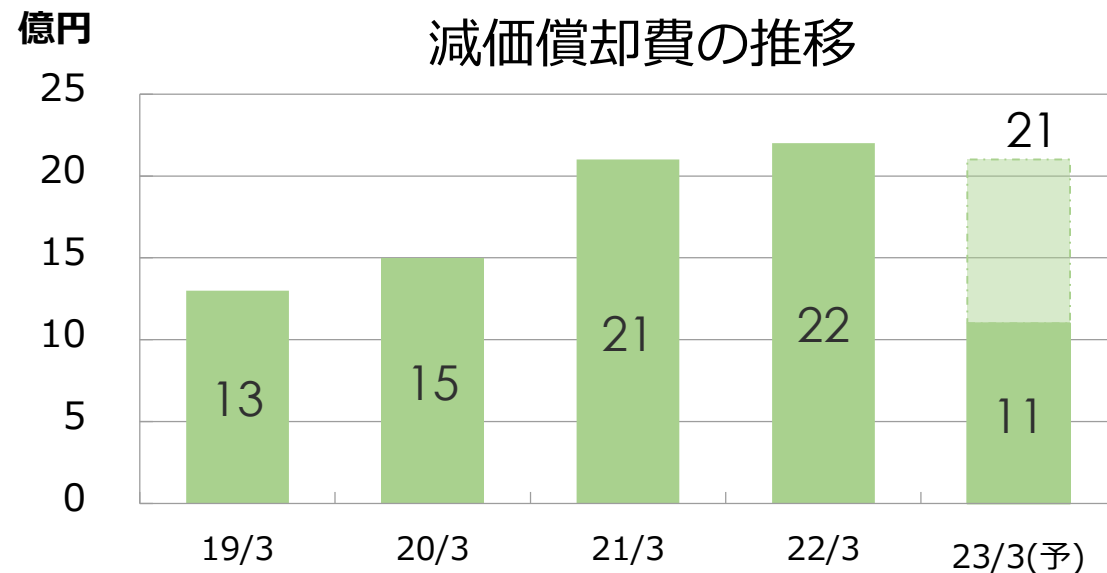
設備投資の状況



設備投資予定

23.3期下期

製錬環境処理設備等 37億円



設備投資実績

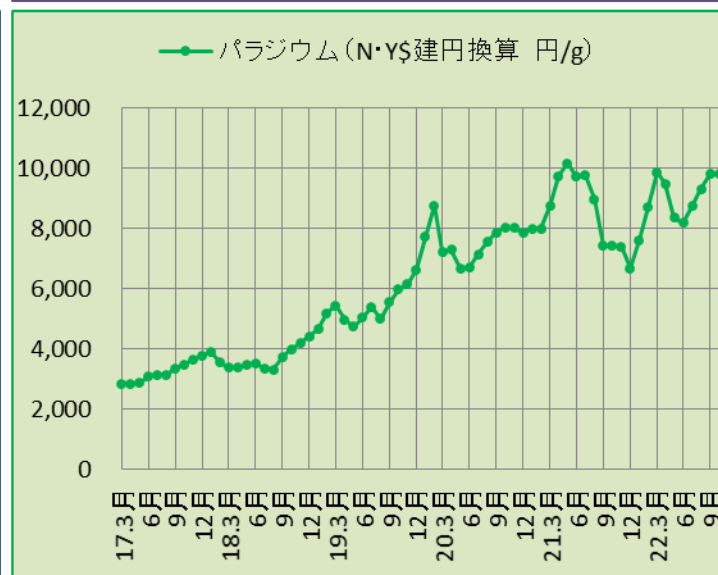
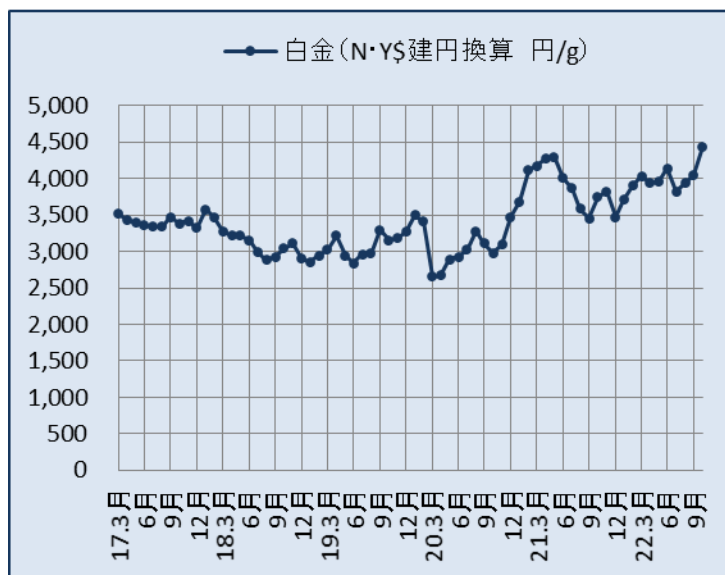
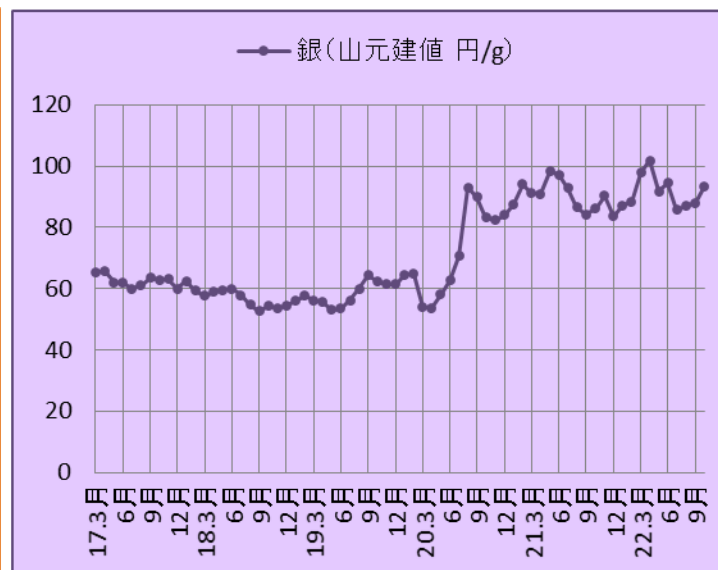
23.3期上期

土地・建物 86億円

製錬環境処理設備等 9億円



(ご参考) 貴金属相場の推移





弊社HP **松田産業** **検索** <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/index.html>

本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を追うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。